

Intergenerational sustainability dilemma and capitalism in societies: Future ahead and back mechanism as a potential solution

著者	SHAHRIER Shibly
year	2018-03
学位授与機関	高知工科大学
学位授与番号	26402甲第320号
URL	http://hdl.handle.net/10173/1867

氏名(本籍)	Shahrier Shibly (バングラデシュ)		
学位の種類	博士(学術)		
学位記番号	甲第320号		
学位授与年月日	平成30年3月19日		
学位授与の要件	学位規則第4条第1項		
研究科・専攻名	工学研究科・基盤工学専攻		
学位論文題目	Intergenerational sustainability dilemma and capitalism in societies: Future ahead and back mechanism as a potential solution		
論文審査	(主査) 高知工科大学	教授	小谷 浩示
	高知工科大学	教授	西條 辰義
	高知工科大学	准教授	中川 善典
	高知工科大学	准教授	小林 豊
	高知工科大学	教授	篠森 敬三

審査結果の要旨

1.論文の評価

博士論文は概ね高評価を頂いた。しかし、第四章の研究「Intergenerational sustainability dilemma and a potential solution: Future ahead and back mechanism」において、Future ahead and back mechanismを現実問題へ適用する際に注意すべき点が指摘された。特に、そのmechanismはこれから成長が見込まれるアジア・アフリカの新興国では上手くいくかもしれないが、成熟した日本の様な社会では実験で提示された効果と同程度の効果をもたらすのか、注意が必要ではないか、との意見が出された。又、第二章の研究「Social value orientation and capitalism in societies」において、競争的な社会が人々をより競争的にしているのか、競争的な社会がより競争的な人々を引き寄せているのか、どちらなのか、より確かな証拠があれば提示すべきとの指摘があった。現時点では、移住問題において多くの文献が存在するが、それらに基くと「競争的な社会がより競争的な人々を引き寄せていない」との実証研究が存在する。これらを明示的に引用し博士論文を修正する予定である。

2.審査の経過と結果

- (1) 平成30年1月10日 博士後期課程委員会で学位論文の受理を決定し、5名がその審査委員として指名された。
- (2) 平成30年2月16日 公開論文審査発表会及び最終試験を実施した。
- (3) 平成30年3月6日 博士後期課程委員会で学位授与を可とし、教育研究審議会で承認された。